

# 令和7年度西区実施プラン 期末報告

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、令和7年度の取組結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

令和8年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

令和8年(2026年)3月 西区長 村上 文章

## I 西区実施プランの全体

### ◇ 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに持続可能な西区のまちづくりを進めてまいります。



### ◇ 西区の運営方針

西区は、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく安全・安心、環境、文化の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所運営を進めます。

1. 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
2. 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
3. 市民感覚を大切にした地域とともに進めるまちづくり



- ・各部の目標
- ・運営方針実現のための取組

### Ⅲ 運営方針実現のための取組

運営方針 1	誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
--------	--------------------

#### (1) 地域の防災力強化

小中学校などの基幹避難所において、区職員、学校職員及び地域住民の3者で実際に避難所の設営・運営などを体験する避難所開設訓練や避難所運営研修を実施しました。

また、地域で自主防災活動に取り組む方に対して、防災資機材の取扱や応急手当を学ぶことができる防災実技研修を行いました。

さらに、町内会等が行う自主的な防災研修会や訓練の開催支援として、町内会に対する防災講話の実施や、段ボールベッドの設営体験や土砂災害防止パネルの展示等を実施しました。



【手稲東小学校での避難所開設訓練の様子】



【避難所運営研修の様子】

項目	参加者数等
避難所開設訓練・運営研修	8か所（185人）
防災実技研修	68人
町内会等への自主防災活動支援	3団体（117人）

#### (2) 介護予防体操の普及

住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ！やまべえ誰でも体操」の普及員養成講座を開催して普及員数を増やすとともに、普及員活動研修会等を通して、普及員同士の交流と普及員が地域で活躍できる機会を作りました。

また、小中学生をメインターゲットとした「やまべえ体操応援隊」の隊員数を増やし、より幅広い世代の区民へ体操を普及していくことで介護予防の推進を図りました。

項目	数値目標	実績
普及員数	571人（30人増）	586名（45人増）
応援隊員数	922人（100人増）	1,134名（312人増）

### (3) 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指し、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体・グループの活動支援、健康教育講座や健康フェアの開催、地域主催の健康講座への協力など、誰もが参加できる健康づくり事業を地域住民、関係団体、企業との協働で行いました。

市民健康教育講座と地域健康教室での医療講演を8回、9月に健康フェアを実施したほか、地域主催の健康測定会等への協力を6回行いました。また、より多くの世代に健康への関心を高めてもらうため、健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場などを活用するとともに、がん検診等の啓発を行いました。



【市民健康教育講座】

### (4) だれでも・いつでも・なんどでもノルディックウォーキング事業

働く世代を含む幅広い世代の区民が多様なライフスタイルに合わせ、年間を通してノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組むきっかけづくりとなるよう農試公園と保健センター、まちづくりセンターを拠点として、ポールの無料貸し出しを行いました。また、保健センター主催の講習会を3回、農試公園主催の講習会を9回と啓発イベント（お散歩ツアー）を6回開催しました。

項目	数値目標	実績
ポールを貸し出した人数	500人	612人



【ノルディックウォーキング】

## (5) 認知症の方や家族への支援

---

「認知症になってからも住みなれた地域で仲間とつながりながら希望をもって暮らせるまち」を目指し、リーフレットの配布や地域に出向いての講話等により、区民に向けた普及啓発活動を実施しました。

また、地域包括支援センターと協働で、家族介護者の会の開催や、認知症に関するボランティアの育成と活動支援、認知症カフェの活用促進等の取組みを行いました。

## (6) 障がいのある方への支援

---

社会的に孤立している知的障がいのある方がいないか把握するため、福祉サービスを利用していない方を対象に、郵送や電話、訪問により生活状況の調査を実施しました。調査結果を基に、生活状況に応じて福祉サービスの周知や民生委員への情報共有などを行いました。

障がいのある方が暮らしやすい地域づくりを目指し、「自立支援協議会西区地域部会」において、福祉に関わる事業者間の連携強化や支援力向上のため、意見交換会や勉強会、研修交流会を開催しました。

また、事業者間交流の一環として一昨年度から実施している事業所説明会について、今年度は手稲区地域部会との共催とし、参加者は事業者だけではなく当事者やご家族の方々にもご参加いただける形式に拡大しました。

## (7) 安心して子育てできる地域の環境づくり

---

子育てインフォメーション「さんかくやまベエのへや」は約11,500人の利用があり、約2,200件の子育て相談や子育て支援情報の提供を行いました。子どもを持つ家庭が地域の中で見守られ、安心して子育てができるよう、子育て支援者講演会を開催するとともに、子育てサロン運営団体、子育てボランティア、幼稚園、保育園、認定こども園等の関係機関と、子育て家庭の現状や各団体の活動について情報共有を図り、子育てサロンや子育てボランティアの活動支援も実施しました。

さらに、地域のネットワークを活用し、支援を必要とする子どもの早期発見と見守りを強化するため、要保護児童対策地域協議会研修会の実施や関係機関等との情報共有を行いました。

## (8) 誰もが楽しめる公園づくり

---

地域の方々の声を取り入れた身近な公園の全面改修を、2公園（八軒風の子公園・八軒フラワー公園）で進めました。

また、老朽化した遊水路を1公園改修（山の手草ぶえ公園）するとともに、遊具の点検や更新、草刈等の維持管理を実施しました。



【八軒風の子公園】

## (9) 安全・安心な道路環境の確保

---

老朽化が進んでいる道路について、生活道路整備や幹線道路などの舗装の更新を19路線で実施しました。

また、円滑な交通を確保するため、適宜穴埋めなどの補修を行い道路面の維持管理を実施するとともに、車道 519km、歩道 263km の道路の除雪を実施しました。

さらに、日頃より災害等に備え、災害時から迅速な初期対応や復旧活動を行うため西区災害防止協力会等と共同で防災訓練を実施しました。



【生活道路整備 整備後】

## (1) 西区環境まちづくり協議会等支援事業

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」や区民・団体・企業など、地域の人々が主体的に取り組む環境活動などを支援しました。

### ① 西区環境まちづくり協議会に対する支援

西区環境まちづくり協議会の運営及び活動の支援を行いました。

#### <主な活動>

#### ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」

○「エコキッズ・プログラム」では、小学校や幼稚園・保育園を対象として、五天山公園や琴似発寒川などで、昆虫や植物を観察する自然体験教室や川の生き物を観察する水生生物観察会等を実施しました。

・33回開催、延べ1,386人参加



【エコキッズ・プログラムの様子】

○「親子でエコキッズ・プログラム」では、2歳・3歳の子どもとその保護者を対象として、西区の自然を活かした遊びや散策、食事などの活動を通じて、自然とのふれあい方を学ぶ機会を提供しました。

・2回開催、延べ8組16人参加

○「西区子ども自然学校」では、自然の中での活動に興味のある小学生4～6年生を対象に、西区の自然を活かした自然体験活動を行い、身近な自然に親しみ、楽しみながら環境について学ぶ機会を提供しました。

・3回開催、延べ58人参加

#### ◆「親子で環境満喫バスツアー」

西区内の小学校に通う児童とその保護者を対象に、環境活動やリサイクルの取り組みについて関心を持ってもらうことを目的としてバスツアーを実施しました。石狩市古潭海岸において、ビーチコーミング（漂着物の採取）活動及び海岸清掃を行いながら学芸員の解説を受け、身近な自然環境や海洋プラスチックごみ問題について学びました。

・2回開催、親子31組65人参加



【ビーチコーミングしている様子】

### ◆「西区こども環境広場」

西区民センターにて、様々な体験などを通じて楽しみながら環境について学ぶ体験型イベント「西区こども環境広場」を開催しました。西区環境まちづくり議会の構成団体や区内の企業がブースを出展したほか、ステージイベントでは「子ども環境活動発表会」や「サイエンスショー」、「エコマジックショー」、西区PR担当芸人による「お笑いライブ」などを実施しました。（10月26日実施）

・964人参加



【子ども環境活動発表会の様子】

### ◆「子ども服のリユース事業」

ごみ減量や不用品再使用の促進のため、家庭で不用になった子ども服を区内4か所で5月1日から7月31日まで回収し、西区こども環境広場等のイベントにおいて必要とされる方に譲渡する地域循環型のリユース事業を実施しました。

・回収数：9,718点（うち9,358点譲渡）

※回収数には、昨年度分の繰越394点を含む。



【子ども服を譲渡している様子】

※ その他の実施事業と参加人数

西区子ども体験学校：21人

エコ映画会：353人

項目	数値目標	実績
事業参加人数（子ども服のリユース事業を除く）	2,750人	2,863人

## ② 西区アダプト・プログラム

環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進するため、企業や学校、商店街などの地域団体と西区役所が協定を結び、身近な道路や公園といった公共の場所を清掃するなど、継続的にまちの美化活動を行いました。今年度は2団体が新たに参加しました（登録団体数60団体）。

## （2）琴似発寒川などの環境保全活動等の支援

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川などの環境保全活動等を支援しました。

### ① 琴似発寒川一斉清掃

西区内の連合町内会や企業・団体が参加して、春に琴似発寒川及び左股川の河畔約12km9会場を清掃し866人の方に参加いただきました。

### ② やまめの稚魚放流

各会場近隣の連合町内会が参加して、一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域5会場で、きれいな川を守る思い、ふるさとへの愛着の心が育まれることを願い「やまめ」の稚魚を放流し1,090人の方に参加いただきました。

### (3) 西区SDGs普及啓発事業

SDGsへの理解を広め、身近なところからSDGsの推進を図っていくことを目的に、日々の暮らしの中でSDGsを意識するきっかけづくりとして、6回目となる「西区SDGsフォトコンテスト2025」（応募作品数：170点）を開催しました。

また、区内のSDGsに取り組む企業や団体と連携し、ごみ拾いにスポーツの競技性を加えた、楽しみながらまちを美しくする「西区スポGOMI大会」や工場見学を通じて鉄スクラップをリサイクルしている取組みを学ぶ「親子で学ぼう！西区SDGs工場見学会」を実施するなど、広くSDGsの普及啓発を進めました。

### (4) 地域の文化芸術活動の推進

西区には様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境を生かして、区民の方に対し、上質な文化芸術に触れる機会を創出しました。また、区内の文化芸術活動のすそ野を広げるため、親子で楽しめる事業にも力を入れました。

#### ① 西区文化フェスタ2025

9月から10月にかけて、ターミナルプラザことパトス、生活支援型文化施設コンカリーニョ、西区民センターにおいて、演劇、音楽、日舞、華道、書道、落語、朗読、ダンスなど様々なジャンルの公演および展示を開催し、延べ約1,200人の方々が来場しました。



【西区文化フェスタ2025】

#### ② コトニジャズ・コトニクラシック

コトニジャズは、6月と10月に地下鉄琴似駅にて開催しました。

コトニクラシックは、8月にCiiNACiiNA琴似1階アトリウム、11月にはさむ地区センター、2月にちえりあホールにて開催しました。

令和7年度は計5回開催し、多くの方々にご来場いただきました。



【コトニジャズ】



【コトニクラシック】

### ③ にしく♪ちびっこミュージックプロムナード

11月に、Route148にて、にしく♪ちびっこミュージックプロムナード2025を開催しました。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）修了生をメインとした4人にご出演いただき、0歳から6歳までの未就学のお子さんとそのご家族の方、約200人（2公演分）にご来場いただきました。



【にしく♪ちびっこミュージックプロムナード2025】

### ④ こども・あーと・にしく

3月に「～エコ×アート！キミだけの「魔法の布」 “マイふろしき”をつくろう！～」と題し、真っ白な“ふろしき”をキャンバスに絵を描いたりスタンプを押すことで、自分だけのマイふろしきを制作し、さらに結び方も学ぶことができるワークショップを開催し、26人の小学生に参加いただきました。



【こども・あーと・にしく】

## （5）緑あふれるまちづくり

花苗を町内会などに提供し、歩道美化に取り組みました（28路線の63団体へ11,826株を配布）。



## (1) 地域の課題解決をサポート

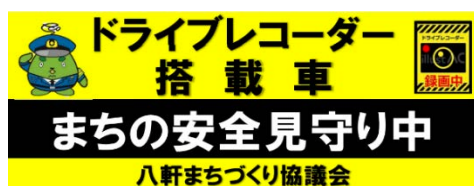
区内に8か所ある「まちづくりセンター」が住民とともに地域の伝統文化などの魅力や、町内会活動をはじめとした担い手不足などの課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指しました。

また、持続可能な町内会活動支援や町内会加入促進支援の一環として、地域のイベントで加入促進啓発品の配布とともに加入状況アンケートを行う啓発活動（3回）や、町内会活動等をPRするための町内会活動ガイドの作成（3町内会）など町内会活動の役割や必要性への周知を図り理解を深めるための様々な支援を、町内会のニーズにあわせて行いました。

### 【八軒まちづくりセンター】

地域の力を結集し支え合うまちづくり – 高齢者の見守り・防犯・防災 –

八軒地区では、八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などをメンバーとする「八軒まちづくり協議会」を結成。安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。今年度は、犯罪抑止につなげる活動としてドライブレコーダーを活用した「ながら見守り」の実施に向け準備を行いました。また、幅広い世代に地域の絆を感じてもらえるよう、夏祭りに地域の歴史を伝えるパネル展を開催しました。



▲まちの安全見守りステッカーのイメージ



▲まちの歴史パネル展7/21

### 【琴似二十四軒まちづくりセンター】

琴似二十四軒地区のまちづくり活動支援事業

#### ◆町内会デジタル化支援

地域で管理運営している二十四軒地域会議室の予約受付に関して、利用者・管理者双方の使い勝手向上のため、電話予約以外にWEBで予約を行うことが出来る、Googleフォームやスプレッドシートに関する講習会を実施し、運営委員5名が参加しました。今後も引き続き町内会デジタル化に関する支援を進めていきます。



▲11/21町内会デジタル化支援 web予約システム講習会

## 【西町まちづくりセンター】

### ◆子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業

未来を担う子どもたちの世代が、地域への愛着を一層深められるような活気ある住よいまちを目指して、北海道コンサドーレ札幌との交流事業を推進しています。

今年度は地区内の4小学校全てで実施し、430名を超える児童が参加しました。



▲ 7/2（西小学校）、7/9（西園小学校）、11/12（手稲東小学校）、11/19（手稲宮丘小学校）にて実施

## 【発寒北まちづくりセンター】

### ◆発北キラキラ7days（発寒北地区内一斉美化活動）

「地域の皆さんと一緒にこのまちをキレイにしたい！」という子どもたちの思いから始まった「発北キラキラ7days」は、2011年から地域で取り組んでいる清掃活動で、町内会、小中学校、商店街等が参加・協力・連携する事業です。

今年度は北翔支援学校やごみパト隊も加わり、約800人が活動に参加して、地域をキラキラにするためゴミ拾いを行うとともに、世代を超えて交流しました。



▲ 9/24（発寒小学校、発寒東小学校、北翔支援学校）、11/26（西陵中学校）実施

## 【西野まちづくりセンター】

### 水車のあるまちエコCity西野

#### ◆情報交流促進・支援事業

ICTへの抵抗感の低減と活用機会の増加を図ることを目的として、スマホ教室開催に必要な機材及び町内会会議や地域行事を効率的かつ効果的に実施するため、インターネット環境の提供に必要な機材（ポケットWi-Fi等）を貸し出しています。



▲ 令和7年スマホ教室（協力：札幌西陵高等学校ボランティア局実施）

## 【山の手まちづくりセンター】

### ◆三角山で育む“まちづくり心”支援事業

三角山ボランティアが中心となり企画運営する魅力発信・保全・登山マナー等の活動を通じて市民が三角山に親しむ下記事業を支援しました。

- ・三角山健康登山スタンプラリー ※202名参加
- ・ボランティア整備登山 ※31名参加
- ・三角山写真展（山の手地区文化祭）※122名参加
- ・山の手小学校3年生総合学習支援（三角山と山の手歴史）※62名参加



▲ボランティア整備登山（8/23）

▲三角山写真展（11/1・11/2）

▲総合学習支援（3/6）

## 【発寒まちづくりセンター】

### 地球にやさしいまちづくり推進事業「エコタウンはっさむ」

次代を担う子ども達と地域（町内会・商店街等）と一緒に環境にやさしい取組を行う「エコタウンはっさむ」の活動を平成20年から実施しています。

### ◆みどりの貯金箱（落葉の堆肥化）

発寒大空公園とはつなん公園（発寒南小学校の児童が参加）の落葉を発酵させて堆肥にしました。出来上がった堆肥は地域の花壇等に使われています。（堆肥の配布105名、堆肥化作業86名が参加）

### ◆エコせっけん&寄木アート体験

廃食用油・廃材を活用するアップサイクル（創造的再利用）活動を、商店街のイベントで実施しました。（251名が参加）

### ◆エコキャンドル&スノーキャンドル

こちらも廃食用油と使用済みのローソクからエコキャンドル（児童会館の児童が参加）を作成しました。また、このキャンドルを使用しスノーキャンドルイベント（児童会館の児童が点灯式に参加）を実施しました。（協力者84名）



▲みどりの貯金箱



▲エコせっけん&寄木アート体験



▲エコキャンドル&スノーキャンドル

## 【八軒中央まちづくりセンター】

地域の既存のイベント開催が少ない冬季に、「にぎわい」と「交流」を創出することを目的として「八軒中央ランタンフェスティバル」を開催しました。

### ◆八軒中央ランタンフェスティバル

にぎわいコミュニティ委員を中心とした実行委員会が主催し、参加者と同時に当日のお手伝いスタッフも募り、地域が一つになって作り上げたイベントとなりました。

参加者の手によって彩られたランタンは、点灯式を経て冬の夜を照らし出しました。夜空を舞うスカイランタンの灯火や、八軒中央地区のキャラクター「はっけんくん」を優しく囲む紙ランタンの光を、地域の皆で惜しみつつ鑑賞しました。

(協力者を含め約200名が参加)



▲ランタン作成風景



▲「はっけんくん」と紙ランタン



▲スカイランタンと参加者

## (2) 冬の暮らしの理解を深める雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策に対する理解が深まるよう、小学生を対象に札幌市の除雪に関する出前授業や除雪機械試乗体験、砂入りペットボトル製作体験等の雪体験授業を実施しました。



【雪体験授業（出前授業）】



【雪体験授業（除雪機械試乗体験）】

### (3) 区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、町内会をはじめとするさまざまなまちづくり活動を、広報さっぽろの表紙（写真34枚）や西区ホームページ（54件）、西区役所1階ロビーのデジタルサイネージ（電子看板）で配信している「西区ニュース」（24件）で広く紹介しました。

また、広報さっぽろに西区で活躍している方などを紹介する企画「今月のやまベエフレンズ」（特別版1回、通常版2回）を連載しました。



【西区ホームページ】



【やまベエフレンズ】



【デジタルサイネージに表示した西区ニュース】

### (4) 選挙啓発活動の推進

未来の有権者である子どもたちに、選挙の大切さを学んでもらうとともに、政治や選挙を身近に感じてもらうため、「せんきょ体験授業」と「西区明るい選挙啓発書道作品展」を実施しました。

#### ① せんきょ体験授業

区内の小学校に通う6年生の児童を対象に、区選挙管理委員会事務局の職員が講師となって政治や選挙に関する講義や模擬投票を行いました。

【参加小学校：12校、参加児童数：843名】



【講義の様子】

#### ② 西区明るい選挙啓発書道作品展（1/19～2/13）

区内の小学校に通う4年生から6年生の児童を対象に書道作品を募集し、入賞作品18点を含む全応募作品について、西区民センター1階ロビーに展示しました。

【応募作品数：1,124点】



【作品展の様子】

## (5) 利便性向上を目指す取組の実施

---

戸籍住民課では、市外転出届や振り仮名届のオンライン申請、証明書のコンビニ交付サービスについて、区役所ホームページや広報さっぽろ、通知ハガキ等で周知を行いました。オンラインの市外転出届は0.5ポイント（R6年32.4%→R7年32.9%）と微増、コンビニ交付は4.7ポイント（R6年28.9%→R7年33.6%）増、そして、振り仮名届は全体の84%がオンライン申請を利用しました。

また、受付順番が近くなるとお知らせする、メール呼び出しサービスをホームページや広報さっぽろ、ロビーの掲示物でPRするとともに、2月には窓口職員を増員して研修を実施し、マイナンバー関連業務を専門で行う窓口を4つ増設したほか、書類の不備等で再来庁する方に、番号札無しで、待たせず受付する「再来庁対応票」の交付を始めるなど、待ち時間の短縮と利便性の向上を図りました。

保険年金課(3階2番窓口)では、発券機の横にバインダーに挟んだ「問診票」を設置し、待ち時間に記入いただく仕組みを導入しました。用件や必要書類を予め記入いただくことで、必要な書類に不足がないかなどを自ら確認でき、窓口で長時間待っていたにも関わらず手続きができないという事態を減らすよう努めました。また、呼び出し後、どのような手続きで来庁されたか問診票の記入内容ですぐ判断できるようになり、窓口の時間短縮に繋がりました。

## (6) 親切丁寧で公正な窓口対応

---

各窓口において、区民に寄り添ったわかりやすい説明を心がけるとともに、信頼を得られるよう公正な対応を行いました。